

## 3-2 外国人研究員招聘プログラム

アジア防災センターは、第1回専門家会議等におけるメンバー国との合意に基づき、メンバー国から研究員の受入れを実施しています。2008年度までに合計40名を受入れており、メンバー国の人材育成に寄与するとともに当該国の防災情報の収集に努めています。

2008年度には、下記の4名の研究員を本プログラムにより受け入れました。

### (1) ネパール

- シャンブ・プラサド・マラシニ研究員
- 派遣時の役職：内務省 職員
- 期間：2008年7月～12月
- ネパールは自然災害の多発国です。日本の防災システムの研修を受けると共に各種シンポジウムへの参加及び各種防災機関やいくつかの大学の防災学部を訪問し講義を受けるなど、日本の総合的な防災対策について積極的に学びました。また、メンバー国との防災情報や経験を共有し、ネパールの防災力向上のための施策展開に関する様々な知識を習得しました。



図3-2-1 EAROPH 姫路・兵庫大会での講演

### (2) ベトナム社会主義共和国

- ヴ・タン・リエム研究員
- 派遣時の役職：農業・農村開発省 堤防洪水管理局 技師
- 期間：2008年7月～12月
- 熱帯モンスーン地域に位置するベトナムは、頻繁に台風・洪水や干ばつなどの自然災害に遭い、多くの犠牲者を出しています。堤防洪水局に勤務する職員として、特に洪水、台風に関係した日本の防災の実情とシステムについて情報を収集しました。また、各種シンポジウムへの参加及び各種防災機関やいくつかの大学の防災学部を訪問し講義を受けるなど、日本の総合的な防災対策について積極的に学びました。



図 3-2-2 EAROPH 姫路・兵庫大会での講演

### (3) マレーシア

- ムハマッド・カシル・ビン・アズィズ 研究員
- 派遣時の役職：マレーシア気象庁 副部長
- 期間：2009年1月～6月(予定)
- 日本の防災対策 特に洪水・台風・津波・地すべりについて、日本とマレーシアの防災情報を比較し研究する予定です。1～2月においては、途上国の中央政府および地方政府の防災行政を対象とし、日本の防災対策についての総合的な理解のために ADRC が JICA と協力して実施する「JICA 総合防災行政研修」に参加し、自国においてのより良い防災体制構築のための知識を深めました。



図 3-2-3 国土交通省雲仙復興事務所訪問

### (4) タイ王国

- アリーラット・ウィジパチャラホン 研究員
- 派遣時の役職：防災省 企画計画分析官
- 期間：2009年1月～6月(予定)
- 日本の防災対策 特に洪水・地すべりについて、日本とタイの防災情報を比較し研究する予定です。1～2月においては、途上国の中央政府および地方政府の防災行政を対象とし、日本の防災対策についての総合的な理解のために ADRC が JICA と協力して実施する「JICA 総合防災行政研修」に参加し、自国においてのより良

---

い防災体制構築のための知識を深めました。



図 3-2-4 ハザードマップ作成